

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年12月6日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まず、2番の審査会合の関係です。

1ページおめくりください。2ページ、一番上から参ります。

12月10日火曜日、（3）第809回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは議題が実質的に3つございます。それぞれ御説明いたします。

まず、中国電力・島根原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、格納容器破損防止対策の有効性評価についての、過去、平成26年から28年ごろの合同審査会合でのコメント回答を受けるものです。

同じく2つ目ですが、九州電力・川内原子力発電所1号機、2号機の保安規定変更認可に関しまして、常設直流電源設備、いわゆる第3電源や、それらなどに関しての11月22日の申請の概要説明を受けるものです。

3つ目ですが、九州電力・玄海原子力発電所3号機、4号機の工事計画認可に関しまして、使用済燃料貯蔵設備の変更、いわゆるリラッキングについての11月26日の申請の概要説明を受けるものです。

続きまして、その1つ下に参ります。

（4）第320回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは日本原燃・再処理施設の事業変更許可に関しまして、11月25日の会合に続いて、まとめ資料の確認を行うものです。

続きまして、その下、12月11日水曜日、（6）第12回核燃料施設等の廃止措置計画に係る審査会合、こちらは議題が2つございますが、1つ目は、日立製作所・教育訓練用原子炉の廃止措置計画に関しまして、廃棄物保管庫設置後の敷地線量評価の考え方について、11月18日の会合に続いて議論を行うものです。

議題2ですけれども、同じく日立製作所の教育訓練用原子炉の廃棄物保管庫の設置に伴う保安規定の変更に関しまして、前回、11月18日の会合に続いて、これも議論を行うものとなっております。

続きまして、その下、12月12日木曜日、(8)、こちらは議題調整中となります。  
1枚おめくりください。3ページ目です。一番上から参ります。

(9) 令和元年度第1回研究推進委員会（放射線安全規制研究戦略的推進事業）、こちらは議題が2つございますが、1つ目は、毎年度重点テーマを決めて調査研究を公募する、この放射線安全規制研究戦略的推進事業に関しまして、令和2年度に公募するための重点テーマの案について、外部の専門家からヒアリングを受けるものです。

議題の2つ目につきましては、そのヒアリングを踏まえて、令和2年度の重点テーマ案について、研究推進委員会の構成員で議論を行うものです。

続きまして、その下、(10) 第811回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは東京電力・柏崎刈羽原子力発電所6号機、7号機と、日本原電・東海第二発電所の特定重大事故等対処施設の設置変更許可について、審査を行うものです。

続きまして、その下、12月13日金曜日、(12) 第812回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは関西電力・美浜発電所3号機の特定重大事故等対処施設の設置変更許可に関しまして、審査を行うものです。

最後となります。(13) 第813回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは日本原電・敦賀発電所2号機の設置変更許可に関しまして、浦底断層の地震動評価についての4月26日の会合のコメント回答を受けるものです。

私からは以上となります。

#### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。アラキさん。

○記者 毎日新聞のアラキです。

13日の(13)の日本原電の件なのですけれども、これは浦底断層の評価が、この日で大体、大方見当がつくという形になるのでしょうか。

○児嶋総務課長 そのようではなくて、まず、震源モデルの設定そのものの妥当性について、説明を求めていますので、その説明があるということです。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—